

# 下水道を核とした市民科学育成プロジェクト懇話会（第2回）

## 次 第

日時：平成26年10月25日(土)

13:00～16:00

場所：いたち川海里橋周辺・神奈川県立地球市民

プラザ1階ワークショップルーム

- 1 開会
- 2 市民調査の実施  
(現地から地球市民プラザ会議室に移動)
- 3 本日の調査を読み解くために
- 4 議事
  - (1) 愛護会や学生の皆さんの取組み等
  - (2) 「市民科学」に関する意見交換
  - (3) その他
- 5 閉会

### 【配布資料一覧】

- 資料1 委員名簿
- 資料2 第2回懇話会における市民調査の概要
- 資料3 いたち川市民調査のポイント
- 参考資料 「キャラバンが往く」

◎閉会后16:30よりプラザ内のレストラン「メルヘン」で、懇親会を予定しています。  
参加費は愛護会・学生の皆さん:1500円、委員の皆さん:4000円とさせていただきます。  
ふるってご参加くださるよう御願いたします。

# 下水道を核とした市民科学育成プロジェクト懇話会

## 委員名簿

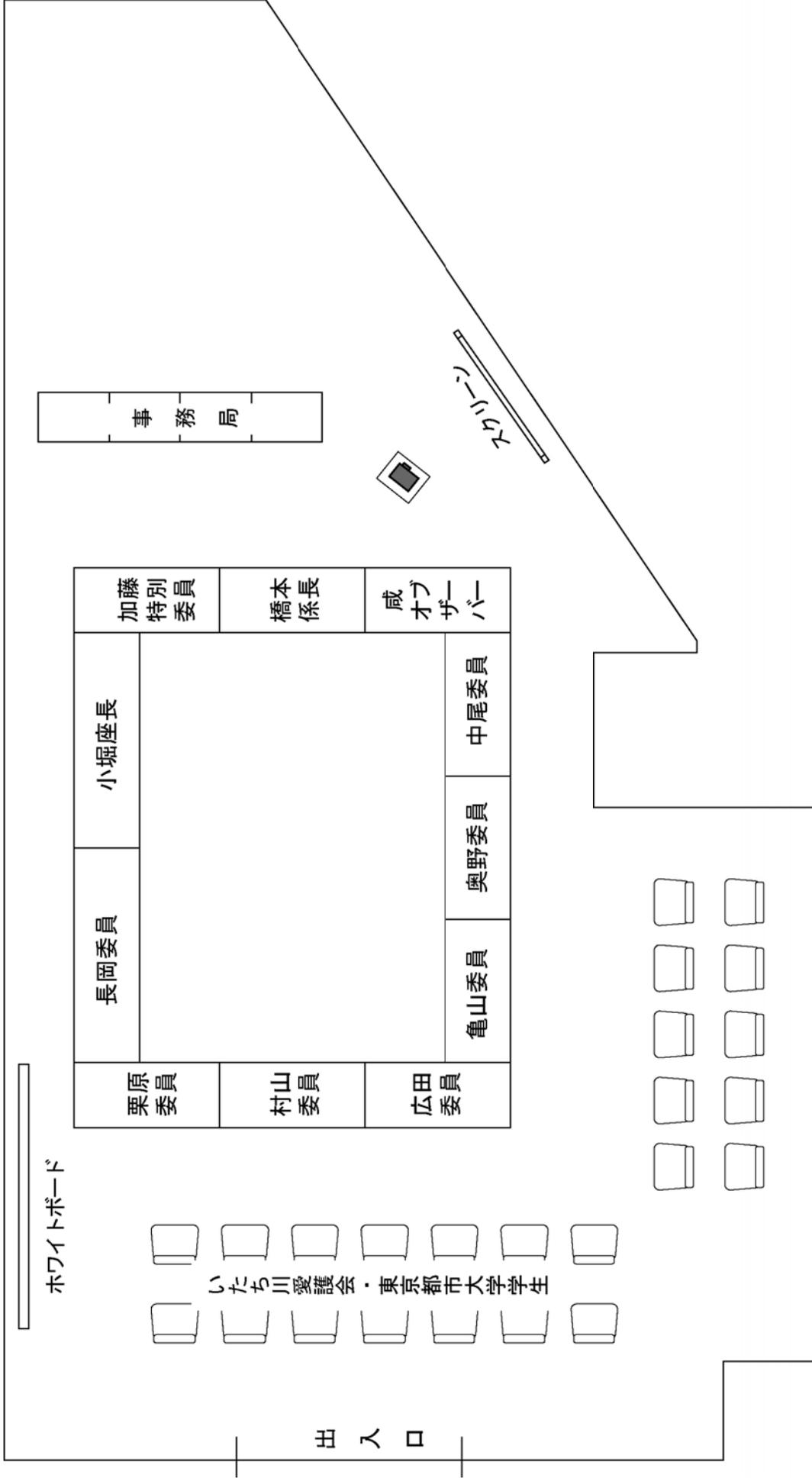
(五十音順)

(敬称略)

- 座長 小堀洋美 (東京都市大学環境学部教授)
- 委員 奥野修平 (横浜市環境創造局下水道事業調整部課長)
- 〃 栗原秀人 (GKP企画運営副委員長)
- 〃 亀山豊 ((一社)生物多様性アカデミー主任研究員)
- 〃 長岡裕 (東京都市大学工学部教授)
- 〃 中尾浩子 (メタウォーター株式会社)
- 〃 広田岳士 ((一社)生物多様性アカデミー事務局次長)
- 〃 村山節男 (いたち川水辺愛護会代表)
- 特別委員 加藤裕之 (国土交通省水管理・国土保全局下水道部流域管理官)
- オブザーバー 咸泳植 (東京都市大学環境学部准教授)
- 事務局 国土交通省水管理・国土保全局下水道部流域管理官付

# 下水道を核とした市民科学育成プロジェクト懇話会

平成26年10月25日(土) 15:00～ 神奈川県立地球市民プラザ1階ワークショップルーム



## 第2回懇話会における「市民調査」の概要

下水処理方式の異なる水再生センターを擁する神奈川県内の境川流域を対象として、放流水が流入する3河川で流域市民・大学生らが参加して調査を行い、測定結果の精度検証や2004年値と比較する等を目標としています。

本業務のうち大学と民間が連携して実施している水質調査では、水再生センターの上流・下流・放流口で測定、採水による分析を行って調査結果をまとめているところです。今回はこのような水環境に関する調査を流域市民が地域活動や環境教育の一貫として実際に取組み、「市民科学」の芽だしにつなげていくことを目指して市民調査を実施することにしました。

「いたち川水辺愛護会」「生物多様性アカデミー」など地域のNPO団体や大学生らが取組む調査として、パックテストなどの水質簡易調査とともに水の色やにおい、水辺の景観や音、満足度などの意識調査も同時に行います。

そして本日の結果は、次回最終の懇話会において報告するとともに、「市民科学」は効果的な手法になるのか。効果的にしていくためにはどうすればよいか。という方向性について議論することを目標とします。

これらの3回の懇話会でいただいた意見をもとに、モデル流域の水環境の向上を目指した「市民科学」へのさらなる展開、下水道が果たすべき役割を前提としたNPO等の地域活動者や大学等教育機関等と連携しながら実施する下水処理推進方策のまとめていきたいと考えています。

### <懇話会での論点>

- ①下水道と市民をつなぐキーワードとして、市民科学を考えている。本日、下水道に係る市民調査を実体験しての感想や意見は？
- ②第1回懇話会等では、「下水道のことをもっと知ってもらいたい」という管理者側の意見と「下水道のことを今まであまり知らなかった」という市民の意見が多かった。この課題への効果的な方策とは？
- ③このようなご意見をいただいたことを受けて、各委員から市民による科学（探求）の役割と「市民科学」による連携方法について自由にご意見をいただく。